

広報広聴特別委員会 所管事務調査報告（令和6～7年度）

1 経過

開催日	主な協議内容
令和6年5月16日	○正副委員長を互選した。
6月3日	○広報部会及び広聴部会の編成及び役割分担と部会長の互選を行った。 ○広報部会及び広聴部会の活動内容を確認した。
6月9日	○議会だより編集会議を行った。
6月17日	○広報部会及び広聴部会からの報告事項及び協議事項を確認した。 ○広報部会及び広聴部会活動の進捗状況を確認した。
7月2日	○広報部会及び広聴部会からの報告事項及び協議事項を確認した。 ○広報部会及び広聴部会活動の進捗状況を確認した。
7月8日	○議会だより第113号の編集会議を行った。
7月17日	○議会だより第113号の編集会議を行った。 ○議会報告会担当者会議を行った。
8月2日	○広報部会及び広聴部会からの報告事項及び協議事項を確認した。 ○広報部会及び広聴部会活動の進捗状況を確認した。
9月2日	○広報部会及び広聴部会からの報告事項及び協議事項を確認した。 ○広報部会及び広聴部会活動の進捗状況を確認した。
9月10日	○広報部会及び広聴部会からの報告事項及び協議事項を確認した。 ○広報部会及び広聴部会活動の進捗状況を確認した。
9月24日	○議会だより第114号の編集会議を行った。
10月7日	○フリースピーチについて協議した。
10月30日	○府中高校研究発表大会に参加した。
10月31日	○フリースピーチのリハーサルを実施した。
11月2日	○フリースピーチを実施した。

11月5日	○議員と語る会（国府公民館）を実施した。
11月6日	○府中東高校意見交換会のリハーサルを実施した。 ○議員と語る会（クルトピア明郷）を実施した。
11月8日	○議員と語る会（協和公民館）を実施した。
11月11日	○上下高校との意見交換会を実施した。
11月13日	○府中東高校との意見交換会を実施した。
11月14日	○府中高校との意見交換会を実施した。
11月18日	○議員と語る会（リ・フレ）を実施した。
11月20日	○議員と語る会（上下公民館）を実施した。
11月23日	○議員と語る会（i-coreFUCHU）を実施した。
11月27日	○広報部会及び広聴部会からの報告事項及び協議事項を確認した。 ○広報部会及び広聴部会活動の進捗状況を確認した。 ○議会だより115号の編集会議を行った。
12月16日	○議会だより第115号の編集会議を行った。
令和7年1月8日	○議会だより第115号の編集会議を行った。
1月20日	○墨田区の視察（フリースピーチについて）を受け入れた。
1月29日	○菊池市の視察（事務事業評価及びフリースピーチについて）を受け入れた。
2月25日	○議会だより第116号の編集会議を行った。
4月2日	○議会だより第116号の編集会議を行った。
4月15日	○令和7年度活動計画と令和6年度活動の振り返りを協議した。
4月28日	○事業成果の流れについて確認した。 ○各事業の進捗状況について確認した。
6月9日	○議会だより第117号の編集会議を行った。
7月11日	○フリースピーチ者の決定を行った。 ○各事業の進捗状況について確認した。

7月31日	○議員と語る会の打ち合わせを行った。
8月2日	○フリースピーチを実施した。
9月4日	○議会だより第118号の編集会議を行った。
9月24日	○議員と語る会の運営について協議した。 ○議会ご意見箱について協議した。 ○各事業の進捗状況について確認した。
10月10日	○議員と語る会のリハーサルを実施した。
10月14日	○議員と語る会（旭公民館）を実施した。
10月15日	○議員と語る会（クルトピア明郷）を実施した。
10月16日	○議員と語る会（生涯学習センターTAM）を実施した。
10月18日	○議員と語る会（i-coreFUCHU）を実施した。
10月20日	○議員と語る会（上下公民館）を実施した。
10月22日	○府中高校探求発表会に参加した。
10月23日	○議員と語る会（クルトピア栗生）を実施した。
10月30日	○府中高校との意見交換会を実施した。
11月6日	○府中東高校との意見交換会を実施した。
11月10日	○議員と語る会のまとめを行った。
11月11日	○議員と語る会の振り返りを行った。 ○各事業の進捗状況について確認した。
11月17日	○上下高校との意見交換会を実施した。
11月11日	○議員と語る会の振り返りを行った。 ○各事業の進捗状況について確認した。
12月1日	○議会だより第119号の編集会議を行った。
12月22日	○議会だより第119号の編集会議を行った。
令和8年2月26日	○議会だより第120号の編集会議を行った。

2 議会だより

(1) 発行状況

議会だより	発行日	トップ記事の内容
第 112 号	令和 6 年 5 月 1 日	高校生模擬議会
第 113 号	令和 6 年 8 月 1 日	議長就任挨拶、市制施行 70 周年
第 114 号	令和 6 年 11 月 1 日	敬老会開催
第 115 号	令和 7 年 2 月 1 日	市政の活性化を目指して～市内 3 高校生と意見交換会を実施～
第 116 号	令和 7 年 5 月 1 日	入学式
第 117 号	令和 7 年 8 月 1 日	備後国府まつり開催
第 118 号	令和 7 年 11 月 1 日	敬老会開催
第 119 号	令和 8 年 2 月 1 日	主権者教育の推進と市政の活性化を目指して～市内 3 高校と意見交換会を実施～

(2) 取り組み内容、課題、今後の改善方針

- ・市民への一方通行的な感じは否めない。議会だよりを読んでの感想や改善に向けてのアイデアなどを年に 1 回でもアンケートで各年代層の抽出者に送るなど、より充実した議会だよりに進化させる方途を講じてはどうか。
- ・議会傍聴の呼びかけや傍聴感想、傍聴記などの掲載も考えていけばよい。
- ・読む側の市民に分かりやすい議会だよりを目指して、少しずつではあるが改善を進めてきた。昨期に取り組んだ取り組み（一般質問の見出しに QR コードをつけ YouTube にリンク、わかりにくいカタカナ用語や専門用語に脚注を入れる、議会のトピックに囲み記事で説明など）に加え、一般質問の記事にイラストや写真を多用して親しみやすくするなど、読みやすくなるよう試みている。現在紙面はタブロイド版（通常の日刊紙の 1/2）であるが、多くの自治体の議会でも A 4 版となっており、読みやすい議会だよりにするため A 4 版化を検討していきたい。
- ・一方的な議会報告ではなく取材を通じて市民の声を紙面に反映する。
- ・SNS との連携を検討するなどの課題も残っており、引き続き検討を進める。

3 議員と語る会

(1) 令和 6 年度

① 実施内容

令和 6 年度「議員と語る会」は、令和 4 年～令和 5 年にかけて 16 会場から 8

会場に絞り込んで実施したが、全体的な参加者の伸び悩みとテーマを含め再検討を行い、令和6年度より再度会場の絞り込みを行い、6会場とした。内容については、「協働のまちづくり」をテーマに各地域の年齢別人口動向を資料として「住み続けられる府中市にするためにはどのようにすればよいか」についてワークショップ形式で課題や解決策などの意見交換を行った。

開催日	会場	参加人数(人)
11月5日	国府公民館	23
11月6日	クルトピア明郷	8
11月8日	協和公民館	17
11月18日	リ・フレ保健福祉総合センター	18
11月20日	上下町民会館	36
11月23日	i-coreFUCHU	13
合計		115

(2) 令和7年度

① 実施内容

令和7年度の「議員と語る会」については、前年度の実施内容を基に、再度会場とテーマ、実施形式を検討した。結果、実施会場について、地域により参加出来なかった市民の方からの要望も含め、会場数は前回同様6会場としたが、該当地域の変更を行い実施した。形式については、前回同様にワークショップとし、できるだけ意見交換の時間をとった。テーマを、「府中市の明るい未来をどうつくるか」とし、意見交換を行った。

開催日	会場	参加人数(人)
10月14日	旭公民館	17
10月15日	クルトピア明郷	9
10月16日	TAM生涯学習センター	17
10月18日	i-coreFUCHU	12
10月20日	上下町民会館	38
10月23日	クルトピア栗生	9
合計		102

(3) 今後の改善方針

全体的に参加者の年齢層や開催場所、実施方法や内容など、議論を重ねて実施してきたが、思った以上の成果が得られなかった。その反省を含め、議会側からの報告に対し質疑をもらう形式から、テーマを決めて市民参加のワークショップ形式に変更した。アンケートでも形式についてはおおむね好評であった。今後もワークシ

ヨップ形式を継続していきたい。しかし会場によって参加人数にばらつきがあり、会場の集約や、参加対象の絞り込み等が課題としてあげられる。そのことを踏まえ、次のとおり改善策を記載する。

- ・女性の参加を増やすため、女性を対象とした意見交換会を持つ。
- ・町内会連合会との意見交換を行い、課題の共有を行う。
- ・ZOOMで若者との意見交換を行う。(大学生等)
- ・各常任委員会でテーマを設け、委員会ごとのグループワークセッションを行う。このことにより、今後の提言等も含め成果が出やすいのでは。(市民の意見を吸い上げやすい)
- ・会場は上下1、府中2に集約する。参加対象を特定した意見交換会の開催。例えば女性、町内会連合会(要望有り)、中学生、大学生など。

4 高校生との意見交換会

(1) 目的

- ① 生徒は、主権者教育(有権者として求められる力を身に付ける)の実践学習として取り組む。市議会議員と意見交換することで、政治を身近に感じ、市政への興味を促進する。
- ② 議員は若者と意見交換することで、地域活性化に向けた新たな発想を得る機会とする。
- ③ 地域の活性化に貢献できる生徒の育成と、政治的教養を身に付け、主体的に政治参加できる生徒を育成する。

(2) 府中高等学校生徒との意見交換会

① 令和6年度

実施日：令和6年11月14日(木)

実施場所：市役所4階第一委員会室

参加対象：総合的探究の中でテーマ「地域を考える」などを選択している2年生(当日参加者20人)

実施内容：5班に分かれ、生徒の選択したテーマに即して、市の抱える課題や特色も交えて、議員と生徒で意見交換を行った。

成果：生徒が「地域を考える」という探究テーマに基づき、自ら収集・分析した情報を議員に直接ぶつけることで、主権者意識の向上と地域課題への当事者意識が芽生えたことが最大の成果。

議員側にとっても、現役高校生の生の声を聴くことで、統計データだけでは見えにくい「若者の本音」や「移住・定住に向けたヒント」を得る機会となり、世代を超えた対話が、地域の魅力を再発見する循環を生んでいる。

② 令和7年度

実施日：令和5年11月30日（木）

実施場所：市役所4階第一委員会室

参加対象：総合的探究の中でテーマ「地域を考える」などを選択している2年生（当日参加者17人）

実施内容：5班に分かれ、生徒の選択したテーマに即して、市の抱える課題や特色も交えて、議員と生徒で意見交換を行った。

成果：生徒が「地域を考える」という探究テーマに基づき、自ら収集・分析した情報を議員に直接ぶつけることで、主権者意識の向上と地域課題への当事者意識が芽生えたことが最大の成果。

議員側にとっても、現役高校生の生の声を聴くことで、統計データだけでは見えにくい「若者の本音」や「移住・定住に向けたヒント」を得る機会となり、世代を超えた対話が、地域の魅力を再発見する循環を生んでいる。

③ 改善点

単なる「発表と感想」で終わらせず、提案の具体化とフィードバックの仕組み作りが課題です。生徒のアイデアがその後の市議会や行政施策にどう反映されたか、あるいは、なぜ実現が難しいのかという「結果」を追跡して生徒に返すプロセスが必要です。また、より深い議論を行うために、議員側も探究テーマに関する専門的な知見を事前に深め、生徒の思考をさらに引き出すファシリテーション能力を強化することが求められます。

(3) 上下高等学校生徒との意見交換会

① 令和6年度

実施日：令和6年11月11日（月）

実施場所：上下高等学校会議室

参加対象：第1学年（生徒28名）

実施内容：クイズ形式で市議会議員の仕事についてグループ協議・説明。その後、生徒と議員のフリートークにより、政治を身近に感じ、市政への興味を醸成。

成果：若い世代の思いや考えを知ることができ、主権者教育の一助となった。

② 令和7年度

実施日：令和7年11月17日（月）5・6限

実施場所：上下高等学校会議室

参加対象（参加者数）：第1学年「公共」（生徒22名）

実施内容：クイズ形式で市議会議員の仕事についてグループ協議・説明。その

後、生徒と議員のフリートークにより、政治を身近に感じ、市政への興味を醸成。

成 果：交流を通して政治や地方自治に興味がわき、自分の生活にも生かしていきたいと感じる有意義な時間となった。

③ 改善点

特になし

(4) 府中東高等学校生徒との意見交換会

① 令和6年度

実施日：令和6年11月13日（水）

実施場所：市役所4階議会本会議場・第一委員会室

参加対象：第3学年（生徒103名）

実施内容：全生徒を約半分にA班とB班に分かれていただき、前半にA班の生徒は議場で市議会や議員等に関する学習を行った。同時にB班の生徒はさらに8グループに分かれ、第一委員会室で各生徒が考えた質問について、グループごとに議員と意見交換を行った。その後、後半ではA班とB班が入れ替わり、前半と同様に実施した。

成 果：模擬議会・意見交換会

- ・生徒自身が日ごろ感じている課題を質問通告書に文書化し、本会議場で市長と教育長に質問した経験は、主権者教育の実践学習となった。
- ・議員との交流により、政治への関心が高まった。

② 令和7年度

実施日：令和7年11月6日（水）

実施場所：市役所4階議会本会議場・第一委員会室

参加対象：第3学年（生徒数78名）

実施内容：模擬議会・意見交換会

- ・模擬議会と意見交換会を組別（1組・3組計33名）（2組・4組計44名）に分け実施した。
- ・模擬議会として生徒6名が一般質問に登壇した。市長と教育長が、それぞれの分野ごとに答弁され、更なる問いに対しても丁寧な答弁がなされ奥深い議論が尽くされた。
- ・意見交換会については、班分けされた担当議員がそれぞれ対応した。実施内容については、生徒が事前準備していた質問をもとに意見交換会を行った。

成 果：模擬議会・意見交換会

- ・生徒自身が日ごろ感じている課題を質問通告書に文書化し、本会議場

で市長と教育長に質問した経験は、主権者教育の実践学習となった。
・議員との交流により、政治への関心が高まった。

③ 改善点

生徒の質疑した課題について、議会としてどう取り組むかが課題です。また、意見交換会では、生徒が主体的に取り組める時間配分への改善が必要と感じた。

5 市民フリースピーチ

① 令和6年度

- (1) 募集者数 5名以内
- (2) 募集条件 応募者は府中市内在住者、在勤者又は在学者で、原則中学生（義務教育学校においては7年生）以上
- (3) スピーチ内容 府中市政に関すること（国、県、他市町等、府中市政に関係のない内容はスピーチできません。）
- (4) 発言時間 1人5分以内
- (5) 実施日時 令和6年11月2日（土） 午前10時～
- (6) 実施場所 府中市議会 議事堂（府中市役所4階）
- (7) 募集期間 令和6年9月1日（日）から令和6年9月30日（月）
- (8) 募集方法 広報ふちゅう、ホームページ、My府中、facebook、プレスリリース
- (9) 申し込み方法 府中市ホームページから申し込みフォームでの申し込み。
府中市ホームページから「市民フリースピーチ申込書」をダウンロードして、必要事項を記入しての申し込み。
- (10) 申し込み状況 申し込み件数 11件（12名）
- (11) スピーチ者 6名（内、第一中学校は2名でスピーチ。当日1名欠席。）
- (12) 成果 初年度としては、多様な年齢層からの応募があった。なかでも、ZOOMを活用した参加形態もあり、参加者層への壁も条件を整えることができれば参加可能であることが確認できた。

② 令和7年度

- (1) 募集者数 5名以内
- (2) 募集条件 応募者は府中市内在住者、在勤者又は在学者で、原則中学生（義務教育学校においては7年生）以上
- (3) スピーチ内容 府中市政に関すること（国、県、他市町等、府中市政に関係のない内容はスピーチできません。）
- (4) 発言時間 1人5分以内
- (5) 実施日時 令和7年8月2日（土） 午前10時～
- (6) 実施場所 府中市議会 議事堂（府中市役所4階）

- (7) 募集期間 令和7年6月1日（日）から令和7年6月30日（月）
- (8) 募集方法 広報ふちゅう、ホームページ、My府中、facebook、プレスリリース
- (9) 申し込み方法 府中市ホームページから申し込みフォームでの申し込み。
府中市ホームページから「市民フリースピーチ申込書」をダウンロードして、必要事項を記入しての申し込み。
- (10) 申し込み状況 申し込み件数 4件
- (11) スピーチ者 4名
- (12) 成果 今年度は、40代から80代の4名の応募をいただいた。
テーマは、「土木常設員」制度の導入の提案、地域貢献活動団体への支援要望、公務員の副業的農業支援制度の導入、府中市財政再建計画への提案の4件で、多様な視点で各現場のニーズを具体的にいただくことができた。フリースピーチ2年目となり、今回はこのテーマで応募したいとの市民の方からの前向きな声もいただき、次第に定着しつつある実感を得た。また、一般質問や委員会での提言へと結びつけることができた。

② 改善点

提案いただいたテーマや課題について、議会としての取り組み状況のフィードバックシステムが確立していないことや、議員の日常活動の中で、市民へのフリースピーチの紹介が必要。ご意見をいただいた際に、「フリースピーチの制度があるのでぜひ御参加を」とお声掛けがあれば、より多くの参加があるのではないかと思う。また、募集方法などを年度当初に発表をして、町内回覧などで広報をすることも必要ではないかと思った。発表内容について、所管する委員会の委員から質問すれば、発表者にとっても発表をしたことへの実感が生まれると思う。

6 改選後の次期委員会への申し送り（引継ぎ）

(1) 広報活動について

- ・議会だよりを讀んでの感想や改善に向けてのアイデアなどを年に1回でもアンケートで各年代層の抽出者に送るなど、より充実した議会だよりに進化させる方途を講じる。
- ・議会傍聴の呼び掛けや傍聴感想、傍聴記などの掲載も考えていく。
- ・他市町の議会だよりを参考にさせてもらい、より読みやすい紙面に改善していく。

(2) 広聴活動について

① 高校生との意見交換会

- ・今後の対応については、各高校の改善点に基づき改善策を検討し、日程調整も含めて、早めに各高校と実施内容について協議すること。

② 議員と語る会

- ・2年間行った結果、前項の改善策を含め、今後の申し送りとして、中学生等への主権者教育の一環として出前講座や、SNSなどを活用した若者への情報発信を早急に検討し、またテーマについても委員会やターゲットとなる年齢層を含め意見が出しやすい身近なテーマを含め検討、実施して頂きたい。

③ 市民フリースピーチ

- ・開催時期については、2年に1度の開催として、広報等を通して議会からフリースピーチを市民の中に位置づける取り組みが必要である。
- ・発表内容は、ある程度明確にして募集をした方が応募しやすいと考える。
- ・発表者を含めて、市民の皆さんに市政への興味関心と議員活動を啓発する意味からも傍聴者も募集をしたらと思う。